

仙台西多賀病院 地域医療連携室だより

Vol.56

新年のご挨拶

院長 武田 篤



新年明けましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い致します。

◆ 昨年はcovid-19に始まりcovid-19に終わった一年であると言って良いと思います。社会のあらゆる分野が大きな影響を受けましたが、特に医療機関にとっては試練の年でした。通常の診療が継続できなくなった病院が国立病院機構を含めて続出しました。およそ半分以上の病院が赤字に転落したと言われており、中には院内感染を生じて長期間に渡って施設を閉鎖せざるを得なかった施設も報道されています。

このウィルスが厄介なのは感染して早くも2～3日で鼻咽頭を中心に増殖し、さらなる次の感染が生じる可能性のある状態になるにも関わらず、咽頭痛や発熱などの典型的な症状が出現するのはその後、感染から5～6日後であるということです。若い人の中には全く症状を示さないまま経過する場合もあるとのことで、まさしく感染予防のために見えない敵と戦って行く必要がある訳です。しかしその一方で高齢者は著しく高い死亡率を示します。これまで日本で報告されてきた死亡例の95%が60歳以上で、80歳代以上のみで60%を占めます。対照的に20～30歳代の死亡例は0.5%未満、20歳未満の死亡例は報告されていません。

当院には多くの高齢者の患者さんの他、同じく重症化リスクが高いと思われる人工呼吸管理の必要な方々が沢山入院しておられます。一年前には誰も予想しなかったこの異常事態の中ですが、幸い当院はこれまで院内感染を生じることなく診療を継続できております。引き続き感染防御に最大限の注意を払いつつ病院運営に当たる所存ですので、変わらぬご支援を頂ければ幸いです。



～仙台西多賀病院の理念～ 「良い医療を安全に、心をこめて」

勤務医紹介

- ①職名
- ②氏名
- ③専門領域



- ①院長
- ②武田 篤
- ③神経変性疾患、筋疾患、脳神経内科一般
動画による院長ご挨拶はこちら
<https://sendainishitaga.hosp.go.jp/outline/greeting.html>



- ①副院長
- ②両角 直樹
- ③脊椎外科、小児整形、整形外科一般



- ①統括診療部長
- ②古泉 豊
- ③脊椎外科、外傷、整形外科一般



- ①臨床研究部長
- ②荻部 明彦
- ③心血管遺伝性疾患、循環器内科一般、内科一般



- ①内科系診療部長
- ②高橋 俊明
- ③筋疾患、臨床遺伝、脳神経内科一般



- ①外科系診療部長
- ②川原 央
- ③脊椎外科、外傷、整形外科一般



- ①臨床検査部長
- ②吉岡 勝
- ③神経変性疾患、筋疾患、脳神経内科一般



- ①内科医長
- ②三浦 明
- ③血液疾患、内科一般



- ①整形外科医長
- ②山屋 誠司
- ③脊椎外科、脊椎内視鏡手術
脊椎内視鏡センターページはこちら
<https://sendainishitaga.hosp.go.jp/center/sekituinaishikyo.html>



- ①脳神経内科医長
- ②田中 洋康
- ③脳神経内科一般



- ①脳神経内科医長
- ②大泉 英樹
- ③神経変性疾患、脳神経内科一般
認知症疾患医療センターページはこちら
<https://sendainishitaga.hosp.go.jp/center/ninchi.html>



- ①脳神経内科医長
- ②馬場 徹
- ③神経変性疾患、脳神経内科一般
パーキンソン病センターページはこちら
<https://sendainishitaga.hosp.go.jp/center/parkinson.html>



- ①脳神経外科医長
- ②永松 謙一
- ③機能的脳神経外科、脳神経外科一般



①小児科医長
②一戸 明子
③小児科一般



①リウマチ科医長
②田村 則男
③関節外科、外傷、リウマチ、整形外科一般



①リハビリテーション科医長
②須田 英明
③脊椎外科、外傷、整形外科一般



①整形外科医師
②八幡健一郎
③脊椎外科、外傷、整形外科一般



①整形外科医師
②衛藤 俊光
③整形外科一般、脊椎外科、末梢神経



①整形外科医師
②秋元 仁志
③整形外科



①整形外科医師
②吉村 広志
③整形外科



①脳神経内科医師
②谷口さやか
③神経変性疾患、脳神経内科一般



①脳神経内科医師
②杉村 容子
③脳神経内科一般



①脳神経内科医師
②大城 咲
③脳神経内科一般



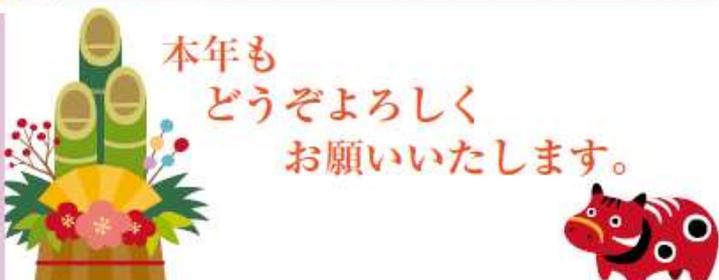
①脳神経内科医師
②戸恒 智子
③脳神経内科一般



①脳神経外科医師
②下瀬川康子
③脳神経外科



①小児科医師
②小林 康子
③小児神経、筋疾患、小児一般



本年も
どうぞよろしく
お願いいたします。

オンラインでの 病院説明会を実施して

昨年は新型コロナウイルス感染症対策により学生の受け入れができず、インターンシップ及び病院見学会・病院説明会の実施ができませんでした。そこで、今回、令和4年度看護師採用に向け、インターンシップに代わる病院の看護PR動画の作成とズームによるオンライン病院説明会を企画・実施いたしました。

PR動画の内容は、①プリセプターからの病棟紹介②新人看護師のインタビュー③看護の場面等をホームページにアップし、学生さんから観ていただき「インターンシップに参加したような気分となり、各病棟の看護の特性や職員の雰囲気を感じてほしい」と考え、各病棟でアイデアをだし合いました。また、先日1月5日には「ズームによるオンライン病院説明会」を実施しました。日時は学生の冬季休暇に合わせ企画し、担当は副看護部長又は教育担当看護師長で、各病棟のプリセプター、先輩看護師からは「看護のやりがい・病棟の雰囲気・先輩との関係性」などを話してもらいました。オンラインでの病院説明会は初めてで、お互い緊張しておりましたが、話をしているうちに、学生さんと先輩看護師との会話が微笑ましく、学生さんからは「説明を聞いて病棟の雰囲気も良く仙台西多賀病院で働きたいと思った」と答えてくれ、対応した先輩看護師も「うれしかった」と笑顔で学生に手を振る姿が印象的でかわいらしく感じました。

今回、皆様のご協力で作成できたPR動画やオンラインによる病院説明会で、新人看護師や先輩看護師が笑顔で生き活きと看護している姿に惹かれ、多くの学生さんに当院の看護に興味を示して頂き「仙台西多賀病院で一緒に看護がしたい」と思っただけいたら大変うれしいです。病院説明会は3月にも3回予定しております。是非、皆さんも動画をご覧ください、よろしかったら感想をお聞かせください。

(看護部 副看護部長 高橋みゆき)

動画はこちらから <https://sendainishitaga.hosp.go.jp/bumon/kango4.html>



令和2年度QCサークル活動発表会 最優秀賞決定

去る12月10日、令和2年度QCサークル活動発表会が行われました。
19組のチームから最優秀賞に選ばれた療育指導室の取り組みについてご紹介致します。

「コロナに負けない～つなげよう 社会と～」 スマイルプロジェクト 療育指導室



コロナウイルスが流行してから、患者さんの生活もかわり、社会の閉塞感は、患者さんに精神的な不安と不満を与えてきていると働きながら感じるがありました。そのため、このようなコロナ禍の状況にあっても、ご家族を含めた社会との

コミュニケーションを維持する取り組みが必要と考え、「コロナに負けない～つなげよう社会と～」とテーマを掲げ取り組むこととしました。

現状把握をもとに「社会・ご家族との繋がりを維持する」という大きな目標を設定し、小目標として①ご家族を含めた外部とのコミュニケーション面の支援と②社会的活動の維持を設定しました。

①ご家族を含めた外部とのコミュニケーション面の支援については、iPadを使ってリモート面会の実施と、デジタルに不慣れなご家族でも患者さんの様子が分かるように、療育活動に楽しんで参加されている写真や病棟での様子をスタッフが記載し、患者さん一人一人へのメッセージカードを作成し、ご家族へ送付しました。リモート面会では8月から12月の予約で延べ、149組の患者さん・ご家族が利用しました。またメッセージカード送付については、ご家族からたくさんのお礼の手紙をいただきました。

②社会的活動の維持については、院内感染対策チームと病棟に相談しながら1つの行事を少人数に分け複数回開催したり、集団で楽しむものから、くじ引きやクイズなど個別に楽しめる行事計画を立てました。

今回の取り組みで、社会・ご家族との繋がりについては、リモート面会の実施やメッセージカードの送付は有効に働いたものと思います。また、重症児病棟についてはタブレットの画面に映るお母さんに手を伸ばすなど、十分なコミュニケーションのツールになりました。社会的活動についても、密にならないよう感染予防をしながら、少人数でも楽しめる内容を実施することにより、患者さん1人1人に丁寧に関わることができ、患者さんの気分転換に繋がられたと思います。また行事の内容を減らさず実施もできました。

QC活動に取り組むにあたり、院内のたくさんの方々にご協力をいただき、ありがとうございました。

(療育指導室 児童指導員 島貫 直子)



メッセージカードと写真



リモート面会の様子



密にならない行事の取り組み



写真館

当院では毎年、院内環境整備の一環としてクリスマス装飾をしています。



